

syngo.via の使用率で世界第 1 位となったご施設の紹介

導入施設を対象にした2011年9月調査（本調査は四半期毎に実施されます）の結果、世界の数々の著名な施設が含まれる中で、東京都渋谷区のバリューHRビルクリニック様が syngo.via 使用率において世界第 1 位となり、「Excellent Award 2011 syngo.via usage ratio」を受賞されました。この賞を称え11月16日（水）に弊社より記念品を贈呈させていただきました。

バリューHRビルクリニック様は、受診者の視点に立ったホスピタリティあふれる健診サービスを提供し、その健診サービスを担う検査装置として、シーメンスのCT装置「SOMATOM Emotion 16」、マンモグラフィ「MAMMOMAT Inspiration」、超音波診断装置「ACUSON S2000 ABVS」、「ACUSON X300 premium edition」 「ACUSON X150」など多くの装置とそれらの画像データを自動解析する syngo.via を読影業務に利用していただいております。健診施設ということで数多くの検査が行なわれていますが、肺領域での異常を疑う情報を自動検出する“Lung CARE”（Oncology Engineの一部機能）を使うことで、読影時間の大幅な短縮化を図り、1ヶ月で1,800を超える質の高い読影レポートを作成されています。

